

第 24 回 武庫川流域委員会 議事骨子

1 議事録及び議事骨子の確認

松本委員長と浅見委員が、議事録及び議事骨子の確認を行う。

2 運営委員会の報告

本日開催の第 31 回運営委員会の協議状況（ 今回の流域委員会の日程設定の件 本日の委員会の進め方 今後の進め方）について、松本委員長から報告があった。

3 治水計画の詳細検討（基本高水の選定（継続））

- ・ 前回委員会（第 23 回）での議論について、松本委員長から論点整理、報告があった。

基本高水の数値については、大きく分けて「 $3,500\text{m}^3/\text{s} \sim 4,000\text{m}^3/\text{s}$ 」と「 $4,500\text{m}^3/\text{s} \sim 5,000\text{m}^3/\text{s}$ 」の 2 つの意見に集約できる。

背景に、基本高水の位置づけ、考え方に違いがある。（実現可能な目標であるべきと、安全を確保するための長期的な目標値として設定すべきという意見等）

流域対策の効果をどのように見込むのか。

- ・ 基本高水の選定について、岡田委員、中川委員、奥西委員、伊藤委員から、意見書の説明（欠席の山仲委員の意見書については、事務局が朗読）があり、また、各委員及び河川管理者から意見があった。
- ・ 以上をベースに協議したが、結論が出なかった。松本委員長から、今後の議論の進め方について、次の課題提起があった。次回委員会で再協議する。

「2 つの基本高水（「 $3,500\text{m}^3/\text{s} \sim 4,000\text{m}^3/\text{s}$ 」と「 $4,500\text{m}^3/\text{s} \sim 5,000\text{m}^3/\text{s}$ 」）を想定の上、総合治水対策の議論を深めていく。その中で基本高水を集約していく。」